

**令和7年度
第2回
与那原町上下水道事業経営委員会**

令和8年2月10日

◆**経営戦略とは** 公営企業が、将来にわたって安定的な事業を継続していくために、**経営基盤の強化と財政マネジメント向上を図り策定する中長期的な経営の基本計画**

◆**前回策定年度** 令和2年度

◆**計画期間** 令和3年度～令和12年度（10年間）
→ 令和8年度～令和17年度（10年間）

◆**改定理由** 全国的に老朽施設の更新期到来や人口減少による収入減などで経営環境が厳しくなる中、水の安定供給を続けるため、**経営健全化と効率的経営に取り組む必要があります。策定して終わりではなく、3～5年毎に改定していく必要があります。**

現行経営戦略と現状実績の対比

- ◆収益 令和4年度～令和6年度の年平均実績は計画比-46万円（-0.001%）程度で、計画通りに推移している。
- ◆費用 令和4年度～令和6年度の年平均実績は計画比-2,200万円（-5.1%）程度。ただ、令和6年度については、県企業局の値上げによる影響が大きく、推計値の見直しが必要。
- ◆企業債残高 令和6年度末での企業債残高は288,814千円。計画比+633万円（+2.24%）程度で、ほぼ計画通り実施している。

経営の健全性・効率性

現 状

経常収支は黒字を維持し、累積欠損金もなく、現時点では比較的安定した経営状況にあります。一方、受水費の占める割合が高く、今後の料金改定の影響を受けやすい構造に加え、施設や管路の老朽化進行により将来的な維持更新費の増加が懸念されます。

将来への取組

料金改定や企業債の適切な活用により収支バランスを確保するとともに、計画的な施設・管路更新を推進する。あわせて民間活用や広域連携を検討し、効率性を高め、将来にわたり持続可能な水道事業経営を目指します。

目標の設定

効率的な設備投資

水道水を安定的に各家庭まで供給するためには、老朽化した送配水管や配水池などの施設を効率的に更新していく必要があります。そのため、計画的な投資を推進し、老朽施設更新の際には、併せて耐震化も行うなど、無駄のない事業遂行を目指します。

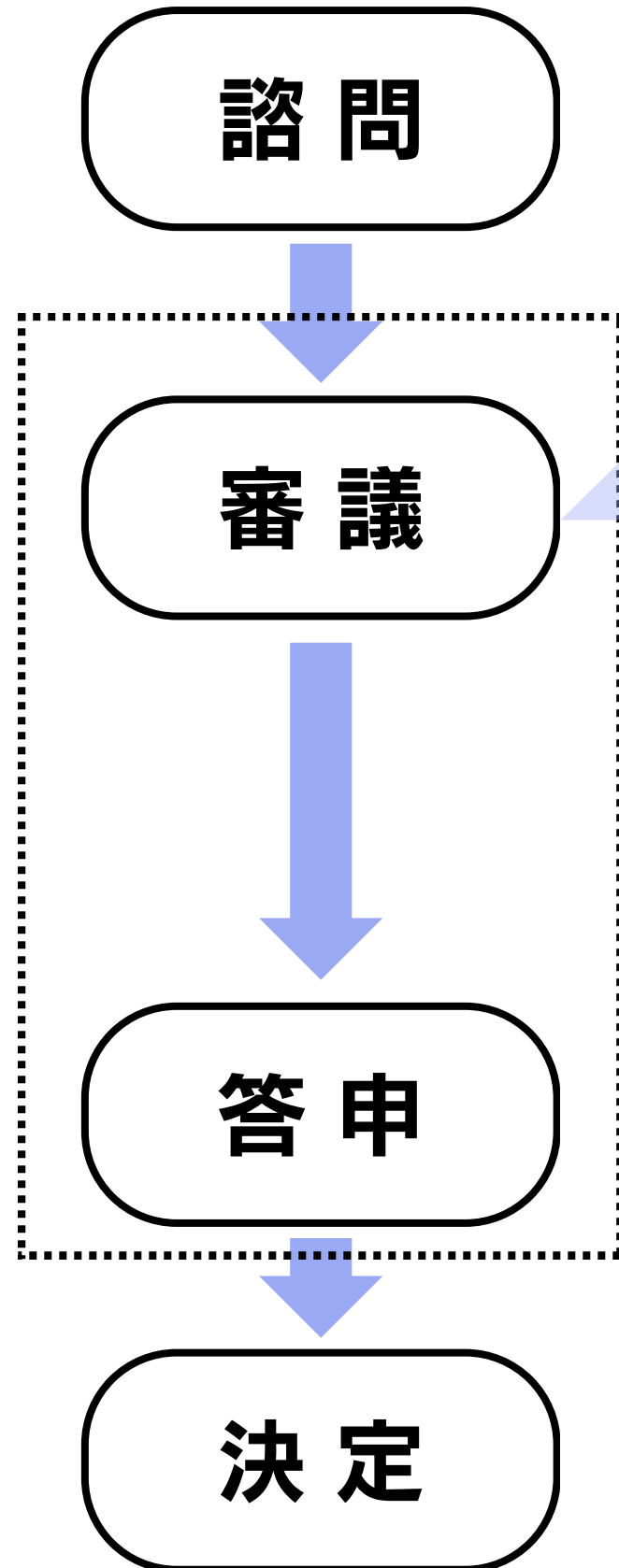
効率的な事業経営

現在の事業経営状況は比較的安定していると言えますが、今後は老朽化した施設の更新には多額の事業費が見込まれます。また、新型コロナウイルス感染症の流行などのように社会情勢等の外部環境の変化も視野に入れた対応が求められています。

財政分析を通して、有効性・効率性の一層の向上に努力し、「安心な水の供給」、「安定給水の持続」に努めていきます。

水質検査、検針業務や時間外の緊急対応業務については民間委託を進めていますが、より一層の行政サービス向上と業務効率化を検討し、広域化に向けた検討、民間活用の検討・推進、料金の適正な設定の検討など、強靱な事業経営に向けた施策を進めます。

経営戦略の検討プロセス



経営委員会の審議事項

現状や課題を把握する

- ・ 本町水道事業経営の現状と課題を提示します。
- ・ 今後の経営の見通しや今後想定される課題を確認します。

経営目標・事業目標を設定する

- ・ 現状や課題を踏まえた経営戦略のアプローチを提示します。
- ・ 経営目標・事業目標を設定します。

目標に沿った投資計画を立てる

- ・ 主要事業における投資計画を立てます。
- ・ その他事業の投資計画を立てます。

財政計画を立てる

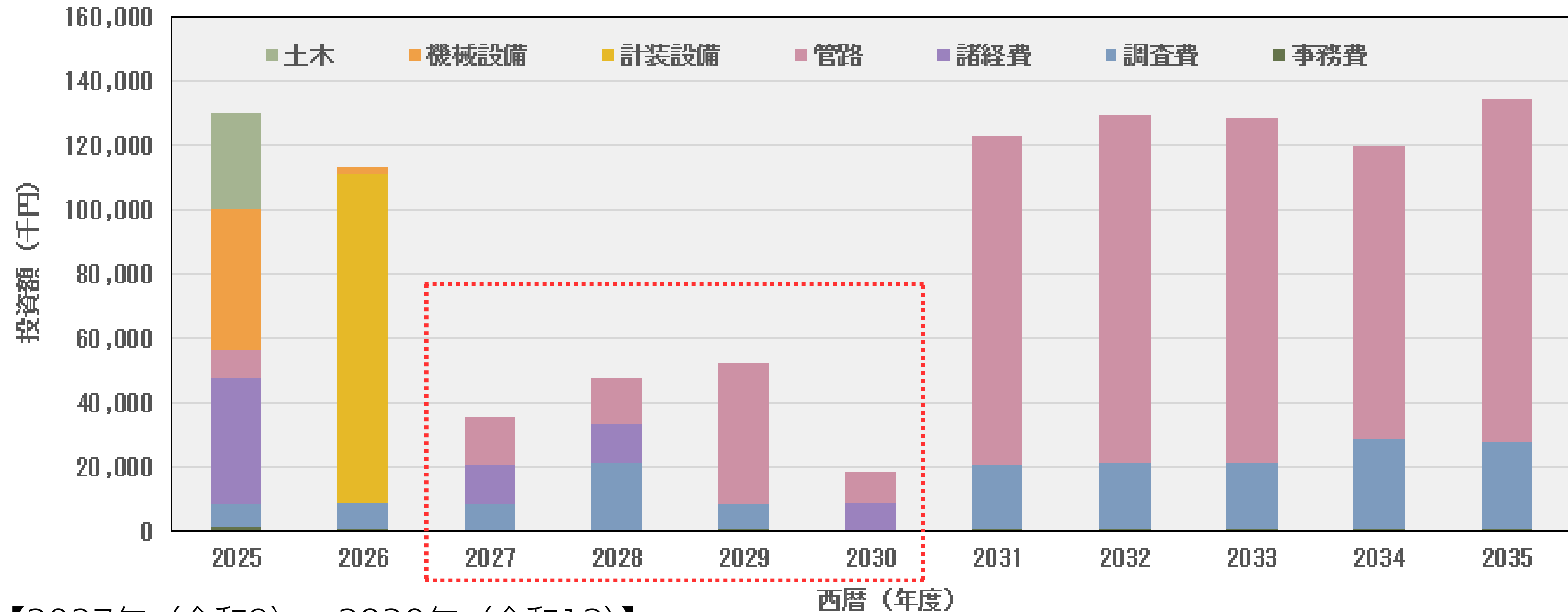
- ・ 必要な投資額と想定される収支を比較します。

収支均衡策を考える

- ・ 収支の見通しに応じて経営努力や資金運用を検討の上、料金体系等を整理します。

【第2回】

将来の投資額('25~'35)



【2027年（令和9）～2030年（令和12）】

第4次拡張事業計画が平成25年～令和12年までの計画 総事業費が979,542千円（税込）のうち残事業の実施計画となります。令和13年以降は新しく策定する管路更新計画に基づくもので、毎年1.5億円程度の投資を行っていきます。

管路更新計画

○重要給水施設管路及び老朽管を平行して更新

管路更新の順番に優先順位をつけ、重要管路の「耐震化」を進めつつ、耐用年数の古い管路から「老朽管の更新」を行っていく計画となっております。

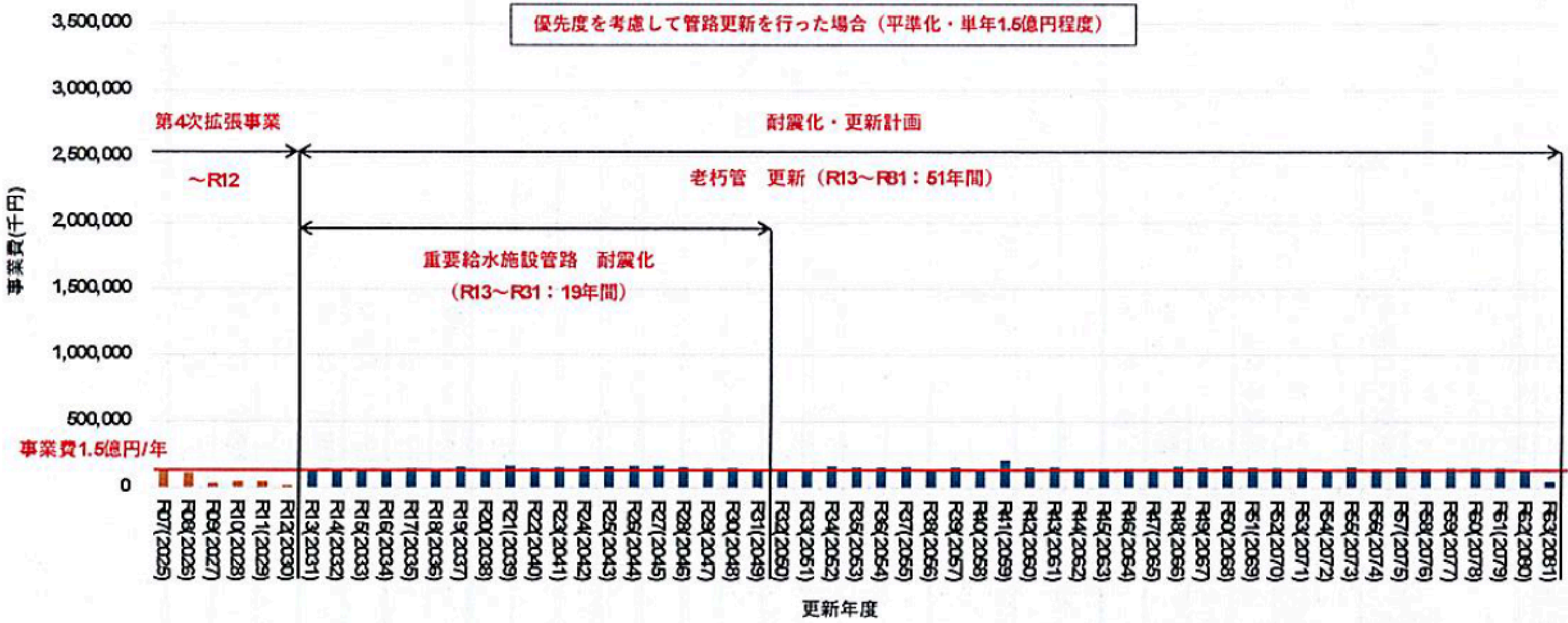
○耐震化

地震時の大規模断水や復旧長期化を防ぐことで、復旧費用や収益減少といった経営リスクを低減します。

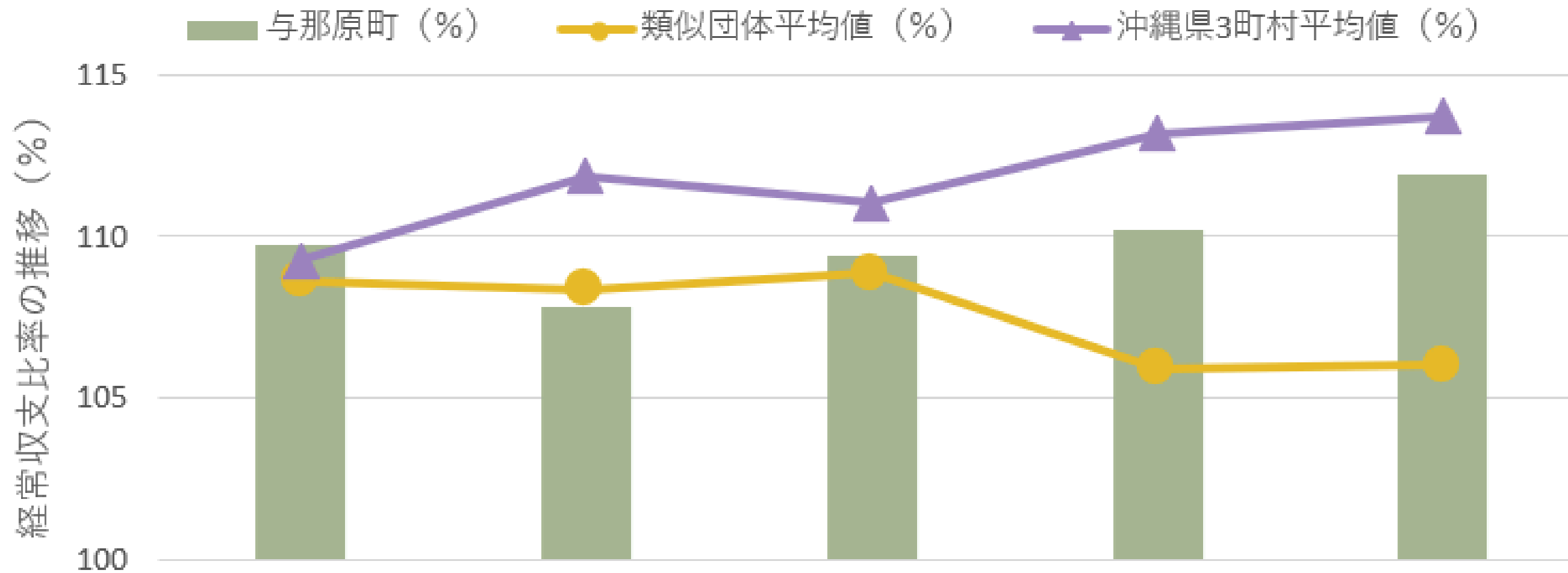
○平準化

単年度費用を1.5億円程度の投資を行っていく計画。重要管路の耐震化工事を令和13年～31年の19年間、老朽管の更新を令和13年～63年の51年間にかけて更新。

管路更新計画イメージ

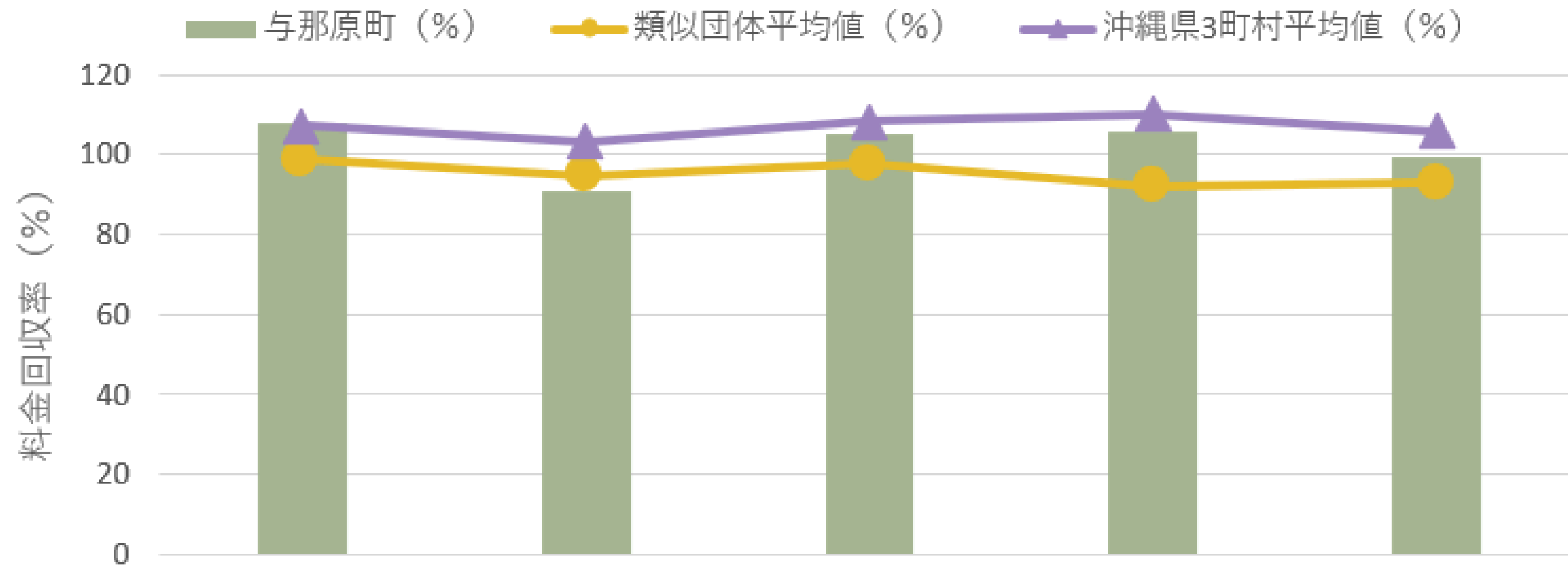


經常収支比率



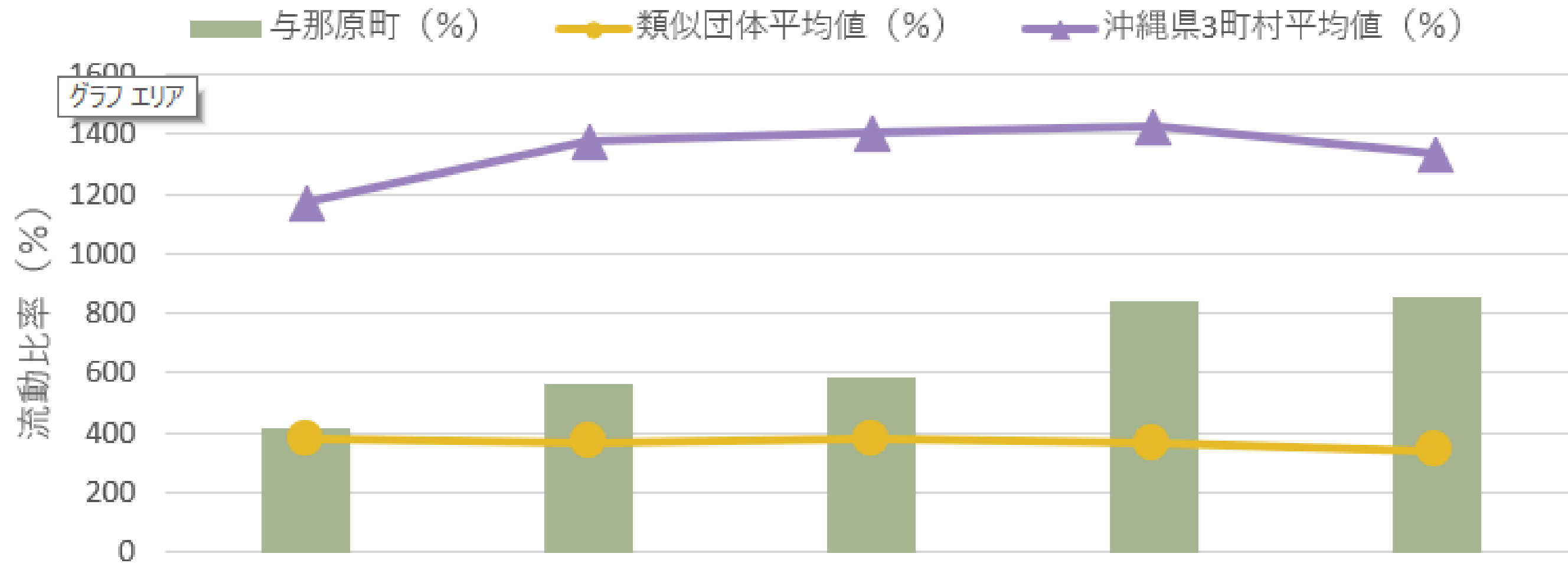
年度 (和暦)	R1	R2	R3	R4	R5
与那原町 (%)	109.75	107.81	109.43	110.19	111.89
全国類似団体平均値 (%)	108.61	108.35	108.84	105.92	106.01
沖縄県3町村平均値 (%)	109.25	111.87	111.05	113.17	113.71

料金回収率



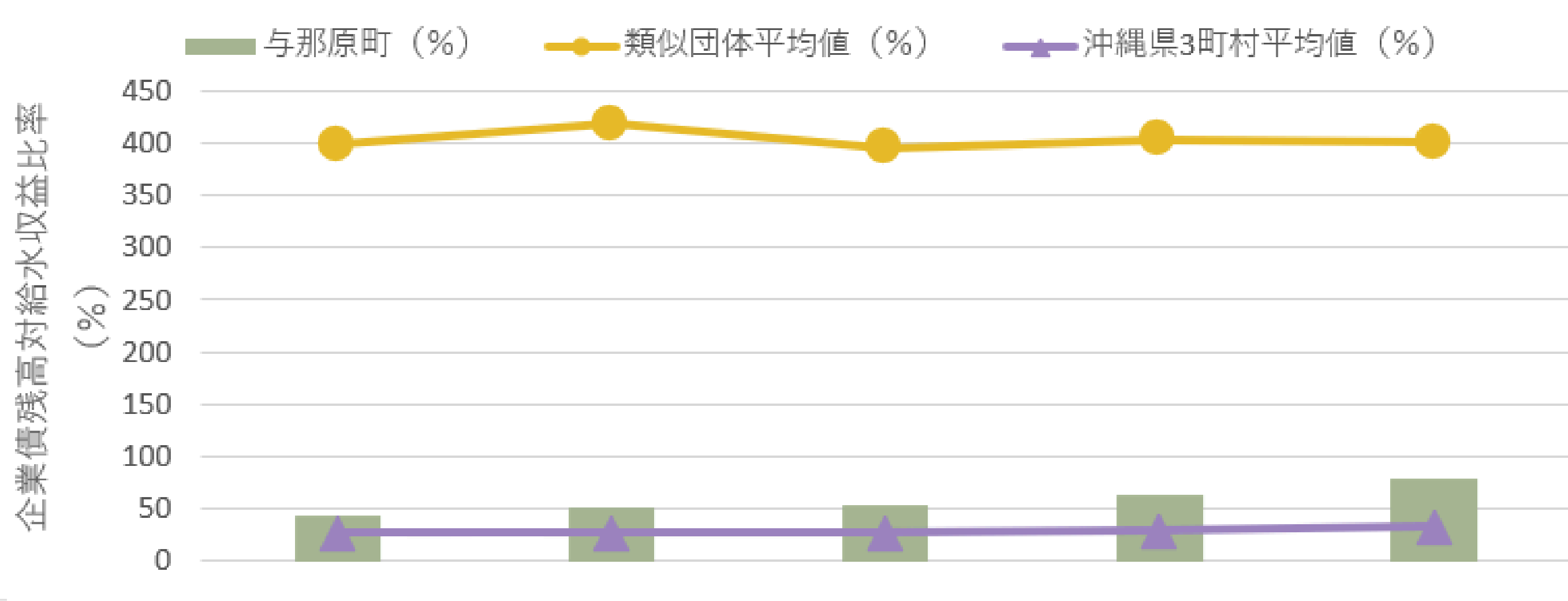
年度 (和暦)	R1	R2	R3	R4	R5
与那原町(%)	107.62	91.06	105.26	105.68	99.34
全国類似団体平均值(%)	98.64	94.78	97.59	92.17	92.83
沖縄県3町村平均值(%)	107.32	103.32	108.28	110.07	105.8

流動比率



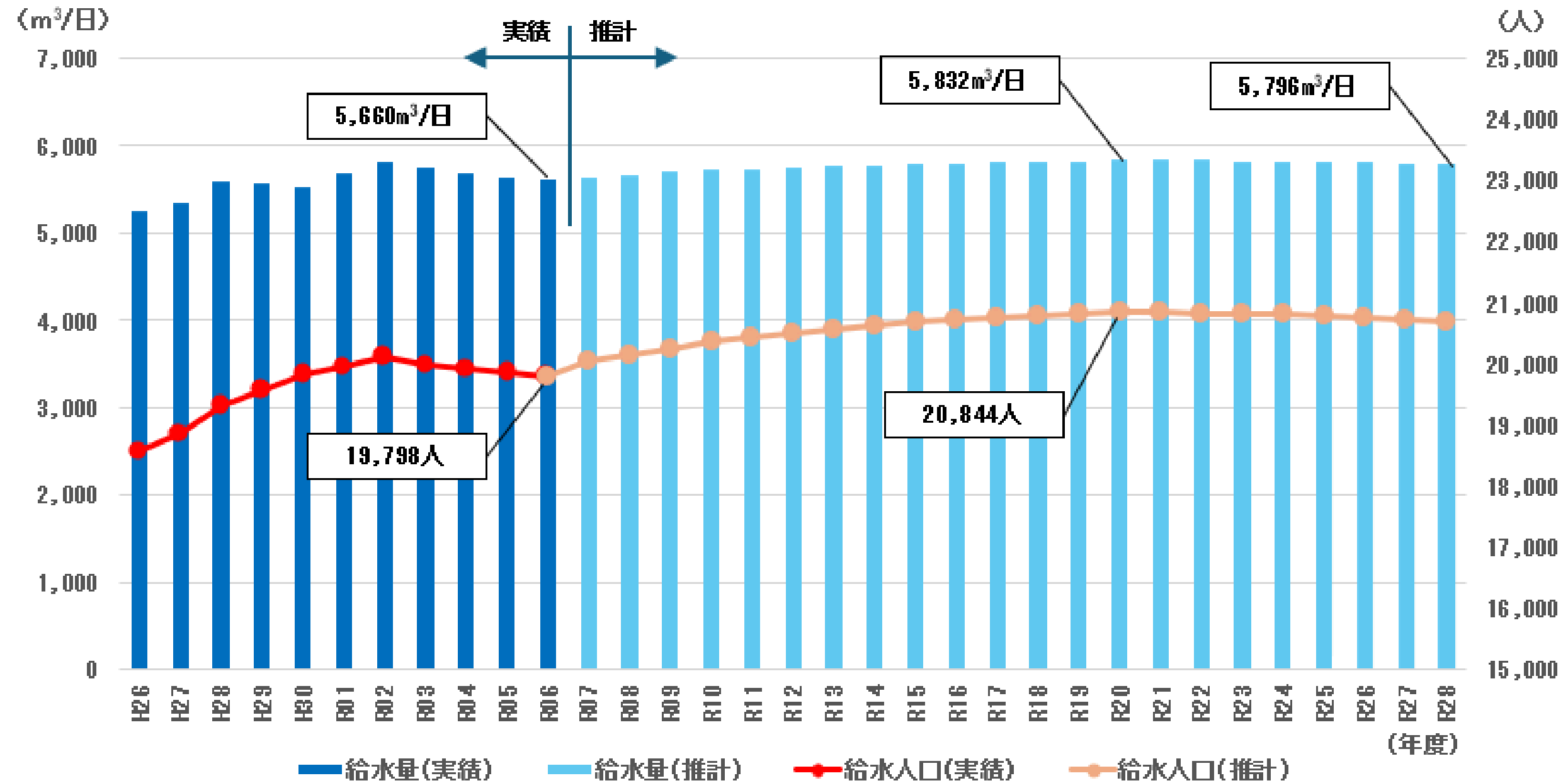
年度 (和暦)	R1	R2	R3	R4	R5
与那原町 (%)	416.7	565.1	587.33	838.04	853.41
全国類似団体平均値 (%)	379.08	367.55	378.56	364.46	338.89
沖縄県3町村平均値 (%)	1169.02	1374.86	1403.3	1423.89	1333.98

企業債残高対給水収益比率



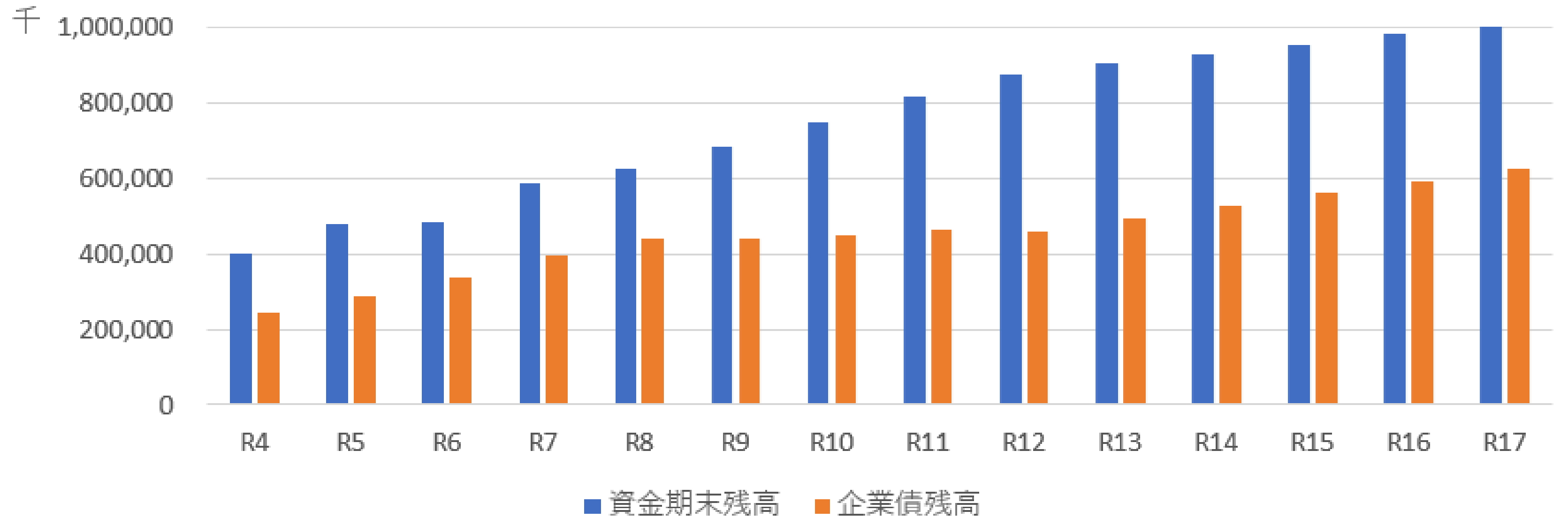
年度 (和暦)	R1	R2	R3	R4	R5
与那原町 (%)	42.11	50.71	53.25	62.34	77.89
全国類似団体平均値 (%)	398.98	418.68	395.68	403.72	400.21
沖縄県3町村平均値 (%)	26.73	27.03	26.94	28.76	32.78

料金収入



令和7年度と令和8年度に料金改定を実施。令和9年度以降は、給水量がほぼ横ばいに推移。それと比例して料金収入も微増しながらも4億8千万円程度で変わりなし。

資金残高と企業債



「収支ギャップ」解消に係る取組

【投資の合理化・経常経費の見直し】

- ① 広域連携
- ② 官民連携
- ③ アセットマネジメントの充実
- ④ 施設・設備の廃止・統廃合(ダウンサイジング)の検討
- ⑤ 性能の合理化(スペックダウン)の検討

経営戦略の計画のとおりでは、収支のギャップが発生していないが、今後様々な影響で収支ギャップが発生しないために、上記内容を随時検討していきます。

**第2回目委員会での内容はここまでとなります。
次回パブリックコメントの内容を踏まえ、全体の内容を振り返りながら
答申案を検討いたします。**